

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2026年08月分)

ご協力ありがとうございました。2026年8月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 141 回答 132 回答率 93.6%

調査項目	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上昇・好況	やや 増加・上昇・好況	横這い・平常	やや 減少・下降・不況	10%以上 減少・下降・不況	
売上数量	18社	18社	51社	28社	17社	132社
	13.6%	13.6%	38.6%	21.2%	12.9%	
	(11.5)	(11.5)	(40.8)	(24.6)	(11.5)	
売上高	17社	19社	46社	36社	14社	132社
	12.9%	14.4%	34.8%	27.3%	10.6%	
	(11.5)	(16.9)	(36.9)	(20.0)	(14.6)	
在庫数量	10社	19社	59社	29社	10社	127社
	7.9%	15.0%	46.5%	22.8%	7.9%	
	(7.2)	(17.6)	(47.2)	(20.0)	(8.0)	
販売単価	4社	58社	57社	12社	1社	132社
	3.0%	43.9%	43.2%	9.1%	0.8%	
	(4.6)	(33.8)	(50.8)	(10.0)	(0.8)	
収益状況 (粗利)	16社	28社	56社	21社	10社	131社
	12.2%	21.4%	42.7%	16.0%	7.6%	
	(11.6)	(21.7)	(40.3)	(20.9)	(5.4)	
稼働率 (生産・加工設備)	9社	15社	54社	29社	9社	116社
	7.8%	12.9%	46.6%	25.0%	7.8%	
	(3.5)	(17.5)	(55.3)	(17.5)	(6.1)	
入出庫の トラック台数	6社	18社	64社	32社	9社	129社
	4.7%	14.0%	49.6%	24.8%	7.0%	
	(2.4)	(15.7)	(49.6)	(26.0)	(6.3)	
現在の 景況感	0社	11社	61社	41社	18社	131社
	0.0%	8.4%	46.6%	31.3%	13.7%	
	(0.0)	(8.7)	(42.5)	(34.6)	(14.2)	
3ヶ月後の 景況予測	2社	23社	87社	14社	3社	129社
	1.6%	17.8%	67.4%	10.9%	2.3%	
	(0.8)	(15.6)	(68.0)	(12.5)	(3.1)	
特記事項						

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
②()内の数字は前月のパーセントです
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
特記事項欄に別途記載いたします
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

景況実感調査(2026年8月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

【お断り】寄せられたコメントは、各社担当者の現場の声です。個々の会社固有の状況にもとづくものも多々あります。業界全体及び浦安鉄鋼団地全体の見解とは必ずしも一致しませんので、お含み置き願います。また、不穏当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 国内需要は依然として本格回復に至っていないものの、人手不足や猛暑の影響を考えると現状がノーマルな状況となっていくと考えている。国内薄板市況は値上がりした材料がアップしてきたことと、国内メーカーのタイト感が強まり、値上げが加速してきている。タイミングを逃さずに、丁寧にお客様へご理解いただけるように会話していく。
- ② 建築分野の需要は低調のまま。市況としては、ADの影響もあり、安価な輸入材の入着が減っているのに加え、高炉各社も需要見合いの生産に抑えていたこともあり、タイト感が漸く出始め、製品価格が上がり始めている。

中板

- ① 中板は需要面に大きな変化はなく、引き合いは低位横這い。値上げ玉の入荷もあり、団地内の価格は小刻みに上昇し、強含みの展開を維持しているが、需要の悪さからユーザーへの売り腰は弱く、更なる市況回復は需要動向次第と思われる。

厚板

- ① 建設機械は、中東情勢の不安定により、出荷台数が減少しており、売上が減少している。店売り関連は引き合いも減少し、加えて稼働日数も少なかったため、売上が最低となってしまった。
- ② スクラップ価格がジリ安となり苦しくなっている。全般的に仕事量が少ない。
- ③ 超大型物件の情報で、高炉のタイト感が急激に高まった様子。実際に高炉は納期が徐々に延びてきているように感じるし、値上げに拍車がかかるのを心配している。中小物件が増えてくる様子は今のところ無いと感じている。

一般形鋼・H形鋼

- ① 8月は稼働日数も少なく、引き合いも減少したため、数字があまり良くないのは想定
の範囲内。先々の案件はあるため、一喜一憂せず商売していく。
- ② 建築関連は低位ではあるが、土木関連の問い合わせ、出荷が増加。8月の鉄鋼団地内
における車両も増加していると感じる。土木関連の動きが次月以降の建築関連に波
及していくことに期待。足元は採算改善に注力。
- ③ 前年同月比、営業日数は16日と変わらずも、諸調査項目は10%以上の減少、下落と
なった。顧客の売上推移を見ても、トレンドは先細りである。現状が悪化なら3か月
後も悪化ではないか。
- ④ コスト増、人材難にて着工件数が減少傾向にある。中小建設業は大変だと思う。

異形棒鋼

- ① 8月は夏季休業および豪雨の影響もあって、予想以上の売上不振であった。市況は
新規引き合いも少ないので、かろうじて横這い推移。

平鋼

- ① 8月の店売り倉出しは、夏季休暇もあり7月比で大幅減となった。ただ、社内加工は
夏季休暇前の受注残が多く、久々に工場が残業することになった。9月の加工残も8
月ほどではないが入っており、10月以降の案件確認を進めていく。価格転嫁も進め
ていきたいが、形鋼類や切板価格が上昇していないので、引き続き情報収集をして
いく。
- ② お盆休み前の駆け込み需要もなく荷動きが悪い。単価値上げも上値が重く、メーカ
ー値上げ分の半分くらいで止まっているので、9月以降、他品種値上げと同タイミ
ングで追加値上げしたい。

軽量形鋼

- ① 受注量は8月まで横這いであるが、9月以降、都内大型案件が進み、増加傾向は年度
末まで窺える。

構造用鋼

- ① 需要は自動車メーカーによって濃淡がある。建機、工作機械関連は堅調。半導体分
野は需要増となっている。在庫は大きく変わらずに適正水準の範囲。価格はメーカ
ー販価引き上げの値上がり玉が入庫しており、流通口銭改定分を含めた1万5千円の
値上げを粛々と進めている状況。

磨棒鋼

- ① 自動車、建機向け等の紐付き品の荷動きは変動なし。店売り品のみ値上げ前の駆け込み需要があった。次月以降、若干の反動減が予想される。

ステンレス

- ① 8月より日本製鉄が10円/kg の値下げを行った。2025年6月以来の値下げとなったが、これまでの値上げ分の転嫁は道半ば。引き続き、お客様には値上げのお願いをせざるを得ない状況が続く。

その他

<スクラップ>

- ① 相場は7月に引き続き下げ基調で推移し、荷動きも低調。一方、海外需要にやや動きが見られ、相場には下げ止まりを感じる。

<金属表面処理>

- ① 8月は紐付き、物件物共に計画通り。スポットの扱い量も連休明けより動き、前月比15%増。現在、一部の錆止め塗料の入荷遅れ等はあるが、少しずつ回復。価格については高止まりを維持している状況。9月も物件物を含め、扱い数量は減ることはなく、高い操業を維持できそうである。